

## 青森県キャリア形成プログラム（青森県自治医科大学卒医師）※未定稿

## 1 趣旨

医療法第30条の23第2項第1号及び同法第30条の25第1項第5号に規定に基づき、青森県出身の自治医科大学卒業医師の円滑な地域勤務を支援するとともに、能力の開発・向上の両立を図ることを目的としたプログラムの策定を行うものである。

## 2 適用対象者

本プログラムは、自治医科大学医学部を青森県出身の選抜区分により入学し、卒業した医師に対し適用される。

## 3 対象期間等

本プログラムの対象期間は、大学を卒業した後に知事が指定する公立病院等に勤務してから、医学部修学資金の貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間（以下「義務年限」と言う。）に達するまでとする。なお、義務年限の2分の1の期間は、知事が指定するへき地等の公立病院等に勤務するものとする。

なお、義務年限には、次の期間を算入しないこととする。

- ・休職（育児休業、介護休業および配偶者同行休業を含む。）又は停職の期間
- ・育児短時間勤務の通算5年を超過した期間
- ・臨床研修期間の2年を超過した期間

## 4 キャリア形成プログラム適用までの流れ

平成31年度以降の入学者は、6年生に進級する際に、卒業後にキャリア形成プログラムを適用することについての同意を書面にて提出を行う。

## 5 配置に係る基本方針

- ・義務年限内医師は県立中央病院地域医療支援部の所属とする。
- ・就学期間が6年間（義務年限が9年間）の場合における配置例は次のとおりとする。配置医療機関は県の自治医科大学卒業医師等派遣検討会議において協議する。

卒後	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
区分	臨床研修		へき地勤務等		後期研修	へき地勤務等			
勤務先	県立中央病院		公立病院又は診療所等		基幹病院等から 自由選択	公立病院又は診療所等			

※身分は県職員。へき地勤務等の期間中は県職員と派遣先自治体職員の併任。

## 6 後期研修制度について

- (1) 臨床研修修了後、原則卒後5年目以降に、本人の意向により、1年間の後期研修を行うことができる。後期研修先は本人の意向（基幹病院等から自由選択）を踏まえ、県が決定する。
- (2) 7(2)に定める専門研修プログラムを専攻する場合は、2年間を上限とした後期研修の実施を可能とする。後期研修先は、1年目は県立中央病院とし、2年目は本人の意向（基幹病院等から自由選択、又は、連携施設等から自由選択）を踏まえ、県とプログラム責任者が協議した上で決定する。
- (3) 後期研修期間は義務年限算定内とする。

## 7 専門医資格取得の支援について

- (1) 専門研修プログラムへの登録は本人の意思によるものとする。
- (2) 本プログラム期間内において取得可能な専門医の領域は次のとおりである。
  - ① 総合診療（青森県立中央病院総合診療専門研修プログラム）
  - ② 内科（青森県立中央病院内科専門研修プログラム）
- (3) 診療科別モデルコース（臨床研修期間は省略）は次のとおりとする。

### ① 総合診療専門研修

（概要）卒後3年目から県立中央病院総合診療専門研修プログラムを選択し、後期研修1年目までに専門医申請資格の取得を目指す。2年目の後期研修先は本人の希望による。

卒後3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
へき地勤務等		後期研修		へき地勤務等		
専門研修プログラム期間			基幹病院等から 自由選択	公立病院又は診療所等		
連携施設等		基幹病院				
三戸中央病院 大間病院 外ヶ浜中央病院		県立中央病院				

### ② 内科専門研修

（概要）卒後4年目から県立中央病院内科専門研修プログラムを選択し、後期研修2年目までに専門医申請資格の取得を目指す。

卒後３年目	４年目	５年目	６年目	７年目	８年目	９年目
へき地勤務等		後期研修		へき地勤務等		
公立病院又は 診療所等	専門研修プログラム期間			公立病院又は診療所等		
	特別連携施設等	基幹病院	連携施設等			
	三戸中央病院 大間病院 外ヶ浜中央病院	県立中央病院	連携施設等から 選択			

※なお、後期研修の期間は個別に調整するため、卒後5・6年目になるとは限らない。

## 8 義務年限終了後

引き続き、青森県からのキャリア形成支援を受けながら、青森県職員としての勤務を可能とする。

## 9 その他

出身都道府県を異にする自治医科大学卒業医師同士が婚姻した場合の取扱いについては、両県において協議して決める。

※後期研修期間については、現在関係者間で調整中であるため、仮の記載としている。